

2023-24 年度 六甲部第 1 回評議会議事録

2023 年 7 月 15 日 神戸 YMCA チャペル

15:00 開会点鐘 六甲部部長 井出 浩（敬称略 以下同様）

ワイズソング斉唱

開会祈祷 森 章一（神戸クラブ）

六甲部長挨拶

非常に緊張している。蒸し暑い中お集まりいただき感謝です。コロナも 5 類になり多くの制約がなくなった。電車で来たが半分以上がマスクなし。

半年報の結果、6 名減員となった。芦屋は 1 名増。どの部においても伸び悩んでおり、減少傾向が顕著になっている。神戸 YMCA を支えユースを育てるためにはメンバー力が必要である。実りある会となって欲しい。

来賓挨拶 神戸 YMCA 総主事 井上真二

若林前部長の主題「困難な時こそ YMCA と共に進もう」に励まされた一年であった。

コロナも落ち着き、対面による会員大会を実施できた。

世界 YMCA ヴィジョン 2030 の紹介。

日本 YMCA 中期計画、神戸 YMCA 将来計画など連携が大切との指摘もあった。

こべっこ遊びひろば西神中央を今春より新しく運営している。7/1 から西神戸 YMCA 学び場（中学生学習支援活動）も始まっている。7/16 は栄光教会佐藤牧師の就任式であるが、佐藤牧師は昔、神戸 YMCA 中山手会館で子ども体育教室に通ったり、青年期は体育館のメンバーでもあったとのこと。山口徹さんとの接点があった。

定数確認と総合司会の自己紹介 六甲部書記 美崎 晋

116 名中 44 名出席 39 名以上で評議会成立。

部長報告 直前部長 若林茂幸

先の西日本区大会で発表されたスライドを基に報告があった。

公益法人、社会福祉法人、学校法人、ワイズの 4 隅によるハンカチーフを地域社会に置き換えて捉えている。地域貢献活動の報告の機会を持った。各部の情報を共有して共通項を見出す目的が、むしろ六甲部の活動の豊かさが認識された。YMCA の認知度が高まる効果があり、共鳴者が増えることになる。まだまだ足りないが方向性が見えた取り組みだっ

た。部会、評議会 2 回（対面）で行えた。4 名の入会、10 名の退会があり 6 名の減員となった。

続いて各事業委員会、クラブの活動報告が順になされた。

会計報告 直前会計 長尾旦

3/10 の中間報告以降の収入はなかった。

①②は請求遅れに対応した。事務費は若干使った。

414,198 円の繰越金が確定した。

絵本の支出は注 4 に含まれている。

監査報告 直前監事 大野智恵

質問 柳 神戸 YMCA への寄付は？ 後程審議予定

●賛成多数で可決承認

六甲部部長方針・活動計画案 六甲部部長 井出 浩

【主題と活動方針】

リアルに出会う意味を再考したい。YMCA と深く関わる経験が乏しい数年を経て、出合いや関わりの喜びを再認識したい。ワイズの活動がどれほど YMCA と関わっているか実感の乏しさは否めない、可視化できていない課題がある。成果は実感として帰ってこないという意味なく、楽しくもないのではないか。YMCA 会館の有る無しにも関係がある。

【活動計画】

Y サ事業の継続と推進

きらりと輝くアート展の継続

EMC シンポジウムの開催

納涼例会の実施

六甲部会計予算案 六甲部会計 山根 泉

次期部長、主査研修会参加費補助の内訳を算定基礎に明示する

メネット委員会事業（絵本プロジェクト）への予算措置についての質問あり、事業として各クラブでの認識があって支援金を得るので予算化はしないが、補足は行う。

各事業主査の活動計画発表

Yサ・ユース 小野

YMCA・ユース・ワイズの三位一体型の説明

地域奉仕・環境 阪本

リアルな対面で、クラブ間の交流、チームビルディングを図る
IT の活用

EMC 杉本

報告フォーマットのシンプル化

シンポジウムの開催内容検討

国際・交流 柏原

8/5 7クラブ合同納涼懇親会 六甲部より@500円の補助あり

ローンボウルズ大会 9/3(日)ならば開催可能であるが、日曜日開催のため交流事業としては取り組まない

広報 大野(代理)

デジタル小委員会と連携していく

メネット委員会 青柳

小さな力だが精一杯活動する

軸はベルマーク集めと絵本プロジェクト

4月には、淡路島国営公園への遠足を実現させたい

(大岩)今はLINEとインスタの時代になった、理由はFacebookでは画面編集ができないため

フィルターに掛かるかどうかも選択肢

インスタに代わるSNSの時代が来るだろう

休憩

各クラブ会長からの活動方針発表

神戸クラブ 会長 尾上尚司

前年に引き続き、交流の幅を広げ、楽しく、幅広く、継続的な奉仕活動を行おう

西宮クラブ 会長 浅野純一

目立たず楽しむべし、出席しづらいメンバーのサポート、YMCA 支援

神戸西クラブ 会長 柳 敏晴

60 年史編纂に際して、歴史を振り返り、地域に繋がっていく

神戸ポートクラブ 会長 北島伸三

新入会メンバー すでに 2 名可能性あり

宝塚クラブ 会長 石田由美子

2 部制例会の企画をする

神戸学園都市クラブ 会長 柴田晶一

「自他共栄」加納治五郎

芦屋クラブ 会長 上野恭男

12/22 25 周年行事

大阪クラブ 75 周年記念事業でエクステンションしたクラブ

クリスマス例会のオークションで、YMCA には延べ 200 万円の寄付ができた

各議案についての協議

第 1 号議案（若林）神戸 YMCA 支援金 10 万円の件

浅野：繰越金が多いと感じている。部報をデジタル化したことも影響しているかも知れない。不必要に多ければ、部費の減額も提案したい

賛成多数で可決

前期の意向を受けて執行となる

第 2 号議案（鵜丹谷）第 28 回西日本区大会開催関係

若林：関西万博と時期が重なることは大丈夫か？

●仮予約は完了できている

大野：協力クラブ制ではなく、六甲部全クラブがホストクラブで良いのではないか？ ホストと協力に分けたこの意図は？

●鵜丹谷期のキャビネットには京都部他、他部のメンバーも参画していくのでこのように整理した。

大野：六甲部全クラブがホストクラブにして欲しい

●鵜丹谷の修正案として、六甲部7クラブをホストクラブとする議案にする

賛成多数で可決

追記) 大会実行委員長は美崎に内定している件、鵜丹谷より報告あり

第3号議案(大野) 六甲部理事輩出、基金設立の件

第2号議案で、六甲部全体が大会ホストクラブであるため、部としての支援が有用ではないか。

若林：基金設立は賛成、部員の規定は有志とは明記していないので部費同様全員

浅野：基本的には反対、賛同者が負担すれば良いのではないかと、西日本区費値上げ(3000円)も既に決定しており、負担が一方的に増えることに違和感がある。いきなり1000円が出てきた印象がある。

杉本：事前の議案提供が二日前の20時であった。本日欠席の部員の意見も聞き取りたい。持ち帰り、審議継続を提案する。

大野：浅野さんの、理事が部から輩出していることへの考えを聞きたい。

浅野：部から輩出は事実か、慣習か？

●規定にはないので慣習ではある。

浅野：支援したいという本質はあっても、強制的に徴収するものではないと考える、有志で良い

大野智恵：審議継続に賛成、多胡部長期に六甲部に理事輩出の依頼があり、大野理事が受諾している。クラブ及び有志から支援を受けているが、もちろん活動が伴うので十分ではなかった。(セコンド)

柴田：額に関係なく、皆に諮り合意形成が必要と思う。

上野：良い提案であるが、部内での審議が必要で思う。

小野：(参考意見)びわこ部はいつ理事が出て対応できるように、基金を積んでいた。(緊急支援活動他多目的)今後検討してはどうか。

大田：審議継続は綺麗ごとで実現は難しい。本日採決すべきと考える。

井出：第2回評議員会を早期に開催することは可能である。

若林：杉本の動議を支持、六甲部会や拡大役員会を決議の場として再考の余地はある。期限を決めて早期に開催する必要あり。

賛成多数

井出：継続審議とし、開催は出来るだけ早期に行う。定例の3月まで伸ばすことは考えな

い。

第4号議案（小野）

拡大役員会と同等の役割を評議会を開催する形になる

杉本：過去の1クラブ4名の代議員制度から、委任状が許可されれば人数の多いクラブが優位になる。クラブ主体の考え方はどうなのか？

小野：現行は、出席部員の数で優位になるので、委任状の有無は関係ない。

若林：反対、重要な議事であり出席するのが本筋、3分の1集める苦勞を厭うのは本末店頭ではないか。議決権のない委任状は意味があるのか。開催を容易にするための委任状が必要か。

柴田：若林さんの意見に賛同。積極的に参加する会に位置付けるべきである。

山田：出席者を増やすという、代議員制を変更した原点に帰る。リモートも有効。

大田：動議、継続審議希望

加茂：セコンド

賛成多数により継続審議となった。

YMCA の歌斉唱

18：24 閉会点鐘 六甲部部長 井出 浩

文責 六甲部書記 美崎 晋